

男声合唱プロジェクトYARO会の歴史

男声合唱プロジェクトYARO会 22年の歴史

#2:2005-1

2005/2/5

●多田武彦合唱講習会開催 [サイサンKSホール・大宮]

講習会后、YARO会の主旨及び活動に賛同された多田武彦氏より「秩父音頭」編曲版を贈呈される

http://www.max.hi-ho.ne.jp/rkato/Document/yaroukai/tadatake_kousyukai.htm

日 時：平成17年2月5日(土) 受付開始：12:00～

合同演奏練習：12:30～

講 演：13:00～16:00

(講演の前に「富士山Ⅱ作品第肆(四)」(かわづら)の合同演奏練習を行いますので、早めにお集まりください。指導：須田信男)

場 所：サイサンKSホール

(JR大宮駅西口下車 ソニックシティすぐそば：西口の広い道路を
まっすぐ進み、大きな交差点桜木町4を左折、二つ目のビル)

さいたま市大宮区桜木町1-11-5 Tel.048-641-8211

参加費：一般2,000円、中高校生1,000円(テキスト代含む)

講 師：多田武彦先生(作曲家)

主 催：男声合唱プロジェクトYARO会

後 援：埼玉県合唱連盟・日本男声合唱協会





最前列中央が宮崎県からお越しになった荒川滋さん(フルトン男声合唱団)



関根盛純さん
男声あんさんぶる「ポパイ」



男声合唱プロジェクト YARO 会三羽ガラス
加藤良一
男声合唱団コール・グランツ



須田信男さん(団内指揮者)
男声合唱団メンネル A.E.C.

【1】 多田武彦合唱講習会に参加して

2005年3月5日

荒川 滋 パート：バリトン（フルトン男声合唱団 宮崎県）

私達にとっては、雲上の存在である多田先生の講習会開催を知って、「拝聴したい」の一念で、ほかの予定をキャンセルしての大宮詣でとなりましたが、3時間半の受講中、地上へ舞い降りていただいた感じがいたしました。

会場に早く着いたこともあって、臆面も無く最前列での聴講です。朝に夕に口ずさむクラブソング「この空と海に生きる」の制作をしていただいて4年、その想いが漸く叶ったのです。加えて僅かな休憩時間に、私のような者に対して時間を割いていただき、お目にかかれたことは、まさに光栄でした。

合唱においてピッチがいかに重要か。フィッシャー・ディースカウの妙技にフレージングの三つの態様など、すばらしい内容の連続です。古典芸術にご造詣の深い先生のお話は、広範多岐にわたり、虎造の浪曲から黒澤・小津安の映画、ひばり・はるみの歌謡曲、はたまたマツケンサンバの分析にいたるまで、ご自身のソロを交えて、その豊富な音源を駆使され、「音こそ楽し」のオンパレードに息つくひまもありません。先生の抽斗の多さには吃驚です。山田耕筰先生、清水 脩先生に薫陶をお受けになったこと。畑中良輔先生、北村協一先生、田中信昭先生との交流のことなど、それは短い時間に感じました。

先生のユーモアを交えた厳しく温かいご指導の中に、奥の深い豊かなお人柄と、音楽に対する深遠なお気持ちを感じ得いたしました。

私など日本の片田舎におりまして、加えて音楽には殆んど無定見ですが、幸いよき指導者に恵まれ、人に伍して楽しく練習に通っています。この受講を機に、常に心のアンテナを広げて、合唱の道を歩みたいと思います。

終わりに、企画していただきました「男声合唱プロジェクト YARO 会」の加藤様をはじめ、関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

※ 会場で、「多田武彦 男声合唱曲集 2・4」、「加藤良一 音楽は体力です」を入手できたことは、幸いでした。

A series of intersecting blue lines of varying thicknesses, creating a dynamic, abstract pattern that frames the text on the page.

男声合唱プロジェクトYARO会の歴史・Top

http://www.ric.hi-ho.ne.jp/neo-rkato/yaro/yarokai_no_rekishi.html

2025年10月13日 男声合唱プロジェクトYARO会 加藤良一